

いよぎんで保険

\ いつもの銀行で、保険の相談 /

いよぎんで、保険。

ごんほ

ご相談ご予約受付中

生命保険や医療保険などの加入内容のご確認や保険の見直しについて、
無料でご相談をお受けいたします。



詳しくは、こちらへ



伊予銀行

エレベーターメーカーより安くなる
のはサービス品質に差があるから?



コストダウンには品質
は関係ありません!
本体コストの差によるもの
で安全性は変わりません!

創業46年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアム

プレミアムなかつお節といえば
「プレミアム」です。

住居 〒799-3192 愛媛県伊予市湊169番地 HP <https://www.marutomoto.co.jp>

週刊
1973年創刊阿ることなく・恐れることなく
愛媛経済レポート

2026年(令和8年)9月14日号 第2510号

愛媛オレンジバイキングス

大街道でフェスを定期開催

土曜の試合日に実施、商店街で観戦・交流・滞在・消費



イメージ画像

バスケットボールは室内競技のため、野球やサッカーと比べ試合の熱量が会場外に広がりにくいという。同社は今年3月にまちづくり部を創設し、地域を盛り上げる取り組みを強化。新たなファンの獲得と中心市街地のにぎわい創出に向け、定期イベント「バイクスファンフェスティバル」の開催を決めた。

一番町通りと二番町通りに挟まれたエリアを会場に、四つのゾーンに分ける。

ゾーン1には観戦用に大型ビジョンとステージを設置。試合前後にダンスや音楽、コンテストなどさまざまな催しを行う。毎回プログラムを変え、市民の発表や企業PRの場としても活用。同社が企画するほか、1枠60分でプラン

ナーや出演者も募る。

ゾーン2には約120平方メートルの人工芝スペースを設け、クッションやテーブル・イスを配置。飲食物を持ち込めるようにし、ファン同士の交流や商店街の買い物客の休憩の場として提供する。

ゾーン3はバイクスと商店街の発信スペースとし、子ども向けのシユート体験や、バスケの動きを応用した防災訓練など、同社が県内各地で行っている取り組みを実施。商店街で買い物などの条件を達成した人が参加できるガラポン抽選会で、まちへの人流を促す。

ゾーン4はスポンサーや地域団体向けのブース出展スペースとして開放する。

今シーズンは10月3日を皮切りに、土曜日に開催されるホーム・アウェイ戦に合わせ、計23回実施。イベント全体を企画・運営したい事業者も募集する。「皆でチームとまちを良くしていきたい」(同社)としている。

学生向けの企業紹介WEBサイト



愛媛シゴト図鑑



スポーツ軸に地域活性化

愛媛オレンジバイキングスを運営する㈱エヒメスポーツエンターテインメント(松山市、中根弓佳社長)は10月から、試合がある土曜日に松山の大街道商店街で大規模なイベントを開催する。大型ビジョン観戦に加え、ステージショーや商店街との連動企画を実施。飲食・交流スペースも設け、試合を起点に中心市街地への人流を生み出したい考え。

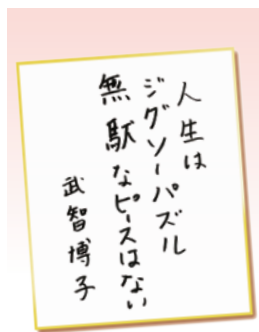
mizufleurは、松山市を拠点に水引アクセサリーや雑貨を製造・販売する。水引のワークショップに参加したのを機に魅力に惹かれ創作を開始。コロナ禍から本格的に委託販売をスタートした。道後の土産店などで販売している。「色の組み合わせを考えていくのが楽しい」と話す武智さん。伊予水引を中心に使用しており、ピアスやイヤリング、しおりや

思わず行きたくなる！ひと うわさの女



mizu fleur
(ミズフルール)

代表 武智 博子さん



ブックバンドなどを製作する。「最近では帯飾りも作りました」。水引を主体に「軽くて付けやすい」アクセサリーを考案。伝統的な結びを生かしたデザイン

にこだわっている。依頼があればワークショップの講師も務めており、小学生や保育士などが受講している。今年の水引アクセサリーの新ラインとして「媛(hime)」を立ち上げた。「県外や海外の人に向けてさらに力を入れていきたい」と意気込む。新たな商品展開を目指し、技術も磨いているそうだ。趣味は一人旅。広島県尾道市出身。



Instagram

*商品の県内取扱店
歩音(あるね)
坂の上の雲ミュージアム
愛媛主義at古泉
そのほか、高松オルネ(高松市)でも販売されている。InstagramのDMからも注文可能。

2026年版「会社年鑑」より一部掲載

道後にまつわる書籍 探訪

道後地区のまちづくりに関する書籍がこのほど出版された。現在のまちづくり関係者の語りから記録した一冊と、戦後の道後温泉の近代化を振り返る一冊。

一つは「聞き書き 道後温泉誇れるまちづくり30年」6人の道後まちづくり物語」で、著者は愛媛大学名誉教授の藤目節夫氏。



1992年に設立した「道後温泉誇れるまちづくり推進協議会」のこれまでの活動と成果をまとめた。タイトルにある通り、話を聞き、その言葉や内容をそのまま書き留め、話し手の人柄が伝わるよ

うにした。同協議会会長で(株)宝荘ホテルの宮崎光彦社長や、(株)古湧園の新山富左衛門会長ら6人のまちづくりに対する思いがつけられている。価格は2200円。アマゾンで取り扱う。

もう一つは「道後温泉の近代化」内湯創設の記録」。著者は宝荘ホテルの創業者・宮崎清治氏で、内湯創設と同社設立の70周年に合わせて、1969年初版の同書を再版した。

戦後間もない道後温泉エリアの近代化の背景や、内湯創設に当たった住民との関係、まちを二分した中での意思決定過程や財政問題が当時者目線で記されている。宮崎社長は「歴史的事実を理解するとともに、先人の偉大さに感謝し、貴重な非火山性の温泉資源を将来につなげたい」としている。問い合わせは同協議会 ☎089-943-8342。

社長の★Birthday

都築直仁さん(愛媛交安(株)、昭和35年9月7日)
今城靖浩さん(松山容器(株)、昭和52年9月8日)
萩尾広典さん(萩尾高压容器(株)、昭和43年9月9日)
薬師神権祐さん(星企画(株)、昭和58年9月9日)
矢野陽子さん(株)クラス、昭和45年9月11日)
白石尚寛さん(白石建設工業(株)、昭和58年9月11日)
片山明子さん(株)ミカンワークス、昭和62年9月11日)
藤井一志さん(株)エクセル電子、昭和40年9月12日)
佐川正純さん(佐川印刷(株)、昭和37年9月13日)
清村洋作さん(清村塗装工業(株)、昭和46年9月13日)